

令和 6 年度 東京都立晴海総合高等学校 学校経営報告

東京都立晴海総合高等学校 校長 佐藤信孝

1. 今年度の取組と自己評価 (1) 教育活動の取組と成果

教育活動の目標・具体的な取組	成果・自己評価	課題と今後の改善策
○キャリア教育、教科指導の充実	○全教職員が総合学科高校のミッションを理解し、3年間を通じたキャリア教育を推進した。大学・企業等との連携を深め、実践的な学習機会を提供した。	○特定の業界への偏りをなくし、多様なキャリアパスを提示する。
○国際理解教育の推進	○海外研修の実施。(フランス サンマロ) フランスから来日した高校生 21 名との 3 日間にわたる全校交流を通じて生徒の国際感覚を育成した。第二外国語の授業改善に向けて取り組んだ。	○異文化理解を深めるための多様な交流プログラムをさらに導入する。 ○英語をツールとして意識する方策の強化。
○基本的な生活習慣の確立	○毎朝の正門指導や定期的な服装指導を実施し、生徒の規範意識を向上させた。	○継続的な指導により、生徒自身が主体的に行動できるような意識改革を行う。
○部活動及び生徒会活動の活性化	○各部活動が学業とのバランスを取りながら地道に活動を続けた。ボランティア活動も活発に行われた。	○各部活動の成果を広く発信し、未加入生徒の関心を高める。
○進路指導の充実	○キャリアデザイン授業やフィールドワークを通じて、進路意識の向上を図った。模擬面接や履歴書指導を行い、希望進路実現率の向上に貢献した。	○進路決定に向けた支援を早期から強化し、個別指導を充実させる。指定校推薦による学校選択に偏らない、豊かな進路選択のための学力向上の方策。
○オンラインを活用した広報活動	○ホームページや SNS を活用し、学校説明会や授業公開の情報を積極的に発信した。	○情報発信の頻度や内容を改善し、保護者・生徒の関心をより引く形にする。
○教育相談体制の強化	○スクールカウンセラーとの連携を深め、相談活動を充実させた。特別支援教育の充実を図り、合理的配	○カウンセリングの機会を増やし、さらに生徒が相談しやすい環境を整える。

	慮の提供を強化した。	
--	------------	--

(2) 重点目標への取組と成果

重点目標・具体的な	成果・自己評価	課題と今後の改善策
○生徒のキャリア教育満足度 90%	○校内研修を充実させ、キャリア教育を深化。生徒の満足度は 92%と目標を上回った。	○満足度を維持しつつ、進路決定の質をさらに高める施策を導入。
○授業満足度 90%	○教科会の充実や授業研究の推進により、授業満足度は 89%とほぼ達成。	○さらに具体的なフィードバックを集め、授業改善に活用。
○いじめ・体罰ゼロ	○全校アンケートや日常的な聞き取りを通じて、未然防止に努めた。	○予防的プログラムを導入し、より安心できる学校環境を構築。
○部活動加入率 80%	○生徒会を中心に部活動の魅力を発信し、加入率 88%を達成。	○未加入者への調査を行い、改善策を検討。
○生活指導方針の生徒理解度 80%	○生活指導に関する周知活動を強化し、理解度 75%を記録。	○指導の伝え方を工夫し、より多くの生徒に理解してもらう。
○重大事故事案ゼロ	○危機管理体制を強化し、重大事故事案は発生しなかった。	○防災訓練や意識向上プログラムをさらに強化。
○進路指導の強化	○進路説明会や進路相談会の充実により、希望進路実現率が向上。	○卒業生との交流を増やし、進路選択の視野を広げる。
○自殺予防の取組推進	○教員研修や相談体制の強化により、生徒のメンタルケアを充実。	○より専門的な支援を導入し、相談のハードルを下げる。

2. 次年度以降の主な課題と改善策

(1) 主な課題

- 6 系列のカリキュラムの特色化が不十分。
- 授業改善の組織的対応や外部からの刺激が不足。
- SNS トラブルの増加に伴う対応強化が必要。
- 進路意識の継続的把握と成功モデルの共有不足。
- 施設修繕の必要箇所が多い。

(2) 改善策

- 各系列の特色を明確にし、進路と関連付けた学習機会を増やす。
- 外部講師を積極的に招聘し、授業の多様性を確保。
- SNS リテラシー教育を強化し、トラブル防止策を徹底。

- 成功事例を共有し、進路指導の質を向上。
- 施設の維持管理計画を策定し、優先順位をつけて修繕を進める。

教科別達成目標と課題一覧

教科	達成対象	達成目標	達成成果	次年度以降の課題
国語	生徒	図書館の利用頻度を増やし、自ら問いを立てて探究する力を身につける。言語活動等を通じて、人に伝える力を養う。	図書館利用頻度の増加が見られ、探究力が向上。言語活動への積極的参加が増加。	図書館利用を更に促進し、深い探究活動を推進。言語活動の多様化を図る。
	教員	教科会の定期開催による授業の情報共有・教材研究の深化。長期休業中の講習を通じた学力向上支援。	教科会が定着し、授業の質が向上。長期休業中の講習参加者の学力向上が確認。	授業研究の深化と、より効果的な指導方法の開発。長期休業中の講習内容の充実。
地歴公民	生徒	前期評定2の生徒が後期3以上となるよう学習姿勢を改善。	該当生徒の50%以上が評定向上。学習姿勢の改善が見られる。	評定向上の更なる促進と、継続的な学習習慣の定着。
	教員	成績処理ミスのゼロ化。前期2の生徒の50%以上が後期3以上になるよう指導助言。	成績処理ミスゼロを達成。指導助言により目標達成率50%以上。	成績向上の持続的サポートと、個別指導の強化。
数学	生徒	数学I・Aの定着、理系大学進学への関心向上。数学II・Bの基礎学力定着。	数学I・Aの定着が進み、選択科目への関心増加。数学II・Bの理解が向上。	理解を深めるための補助教材や個別指導の強化。
	教員	授業の工夫・家庭学習の充実。夏期講習の実施による学力向上支援。	授業工夫が定着し、基礎学力が向上。夏期講習受講者の成績向上が確認。	効果的な学習支援方法の開発と、受験対策の充実。
理科	生徒	自然現象への関心と探究態度の向上。知識・技術の習得と科学的思考の育成。	探究活動への参加が増加し、実験技術向上が確認。	探究型学習の更なる推進と、科学的思考力の深化。
	教員	学習習慣の定着支援、学習フォロー、長期休業中の講習実施。	学習習慣の定着が進み、学力向上が確認。	学習フォローの更なる充実と、個別指導の強化。
保健	生徒	運動技能の向上、健康・安全意識の醸成。生涯スポーツへの関心促進。	運動技能の向上が見られ、健康・安全意識が向	生涯スポーツへの意識向上と、体験活動の充実。

体育			上。	
	教員	課題発見・解決力の育成、男女共修授業の推進。	男女共修授業の定着と課題解決力の向上が確認。	男女共修授業の更なる充実と、運動機会の多様化。
芸術	生徒	基礎技能と感性の育成。専門科目で受験対応力の向上。	基礎技能が向上し、受験対応力が高まる。	更なる専門性の向上と、受験対策の強化。
	教員	夏季講習会の充実、外部研修会の積極参加。	夏季講習の参加率向上。研修参加による指導力向上。	研修内容の共有化と、実技指導の強化。
外国語	生徒	卒業時に英検 2 級 15%以上、準 2 級 40%以上の達成。	英検 2 級 41 名、準 2 級 57 名（12 月時点）合格	更なる英語 4 技能の強化と、英検対策の充実。
	教員	OJT による授業力向上、教材研究の深化。	授業力向上が見られ、指導方法の改善が進む。	OJT の更なる充実と、授業内容の最適化。学力を高める授業構成への意識向上。
家庭	生徒	生活実践力の育成、成年年齢引き下げへの理解促進。保育技術検定合格支援。	実践力が向上し、成年としての意識が高まる。	更なる実践機会の提供と、資格取得支援の強化。
	教員	教材研究と自己研鑽、教科会での情報交換。	授業内容の向上が確認され、共通理解が深化。	研修機会の増加と、実習機会の拡充。
情報	生徒	プレゼンテーション能力向上、Office 系ソフトの活用習得。	プレゼン能力向上が確認され、ソフト活用が進む。	ICT スキルの更なる向上と、実践的活用機会の拡充。
	教員	授業技術向上、ICT 活用促進。	授業の質が向上し、ICT 活用が定着。	授業技術の更なる向上と、最新技術の導入。
商業	生徒	キャリア意識の醸成、ビジネス課題の考察力向上。各種検定合格。	キャリア意識が高まり、検定合格者が増加。	ビジネス実践力の更なる向上と、課題解決力の強化。
	教員	コンテスト応募 25 名以上、簿記検定 2 級 15 名以上、ビジネス文書検定 2 級 10 名以上合格。	目標達成率が向上。全商簿記はほぼ目標達成。指導効果が確認できた。	更なる検定対策の充実と、実務能力の向上支援。